

## COP24 の結果について

2018 年 12 月 16 日

公益社団法人 経済同友会

代表幹事 小林 喜光

- 1 . COP24 (国連気候変動枠組み条約第 24 回締約国会議)において、「パリ協定作業計画」が合意されたことを歓迎する。先進国と途上国の利害対立を乗り越え、合意に至ったことは大きな前進であり、関係者のご尽力に深く敬意を表したい。
- 2 .本年 10 月に IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)が公表した「1.5 特別報告書」は、2050 年頃に温室効果ガス排出を実質ゼロにし、地球温暖化を 1.5 以内に抑制する必要性を訴えており、課題解決に向けたより一層の取り組みが不可欠となる。米国のパリ協定離脱表明など不安要素はあるが、各国の政府、企業などあらゆる主体が、地球の持続可能性に対する危機感を共有し、引き続き国際協力・連携や、革新的な技術開発を加速していくべきである。

以 上